

▽▼さかた農林水産業お役立ち情報　１４２号（2026 年 11 月２日）

早いもので今年も残すところあと２ヶ月となり、カレンダーをめくりながら時の流れの早さにしみじみとしています。朝、布団から出るのが少し億劫になり始める、そんな季節ですね。 秋から冬へと移り変わるこの時期は、白菜や根菜類など、鍋物においしい野菜たちが旬を迎えます。仕事帰りにスーパーに寄ると、ずらりと並んだ新鮮な地元の野菜に目を奪われ、今夜はどれを使おうかと考えるのが最近のひそかな楽しみです。 これから寒さが本格化していきますが、バランスの良い食事と十分な睡眠を心がけ、元気に冬を迎えたいものですね。（担当）K．T

目　次

１．食と農のビジネス塾　一般公開講座の開催について（農業の経営継承）

２．花のある暮らしを目指して！おはなのいろは✿

３．今月のおすすめの農業体験をご紹介します！

４．食卓に旬を。今月のおすすめレシピ

５．農業者向けの環境負担低減栽培技術研修会の開催について

６．米に関するマンスリーレポート等（令和８年１０月）

７．地域農業を導く伴走支援ウェビナー

【１．食と農のビジネス塾　一般公開講座の開催について（農業の経営継承）】

今回は、農業経営において大変重要な課題となっている「農業の経営継承」をテーマに開催いたします。これからの農業を考える上で貴重な機会です。参加費は不要ですので、経営継承に関心のある方や、今後の農業経営について学びたい方は、ぜひご参加ください。

〇日時／令和８年 11 月 12 日（木）13 時 30 分から 16 時 15 分
〇会場／酒田市勤労者福祉センター　３階　多目的ホール（酒田市緑町 19 番 10 号）

〇対象者／農業の経営継承について興味関心のある方
〇定員／なし
〇内容／『農家を辞めたい・続けたい・始めたいを結ぶ』 ～これからの農業の引き継ぎ方・譲り方～
〇講師／福島県農業経営・就農支援センター 事務局長 大波恒昭氏
〇費用／無料
〇申し込み／山形大学農学部内「地域定住農業者育成コンソーシアム」事務局まで 11 月 10 日（火）までお電話で申し込みください。（電話：070-2011-5615）

【2．花のある暮らしを目指して！おはなのいろは✿】

「酒田華いっぱいプロジェクト」※では、お花に関する情報をお届けします。今月のおすすめのお花は **「花の女王」バラ** です。

➢ **特徴**

お祝いやプレゼントなどの用途で一番人気であろうバラについてです。バラは「花の女王」とも呼ばれ、品種は何百種類もあり、香りのある品種もあります。色も豊富で、赤いバラ１つとっても真紅・明るい赤・ワイン系など様々な色があります。大輪系から小輪系まで大きさも様々で、１輪のスタンダードタイプのほかに、１本に複数輪の花がついているスプレータイプもあります。

➢ **管理**

お店で売られているバラは、下葉処理やトゲ取りがされていると思いますので、飾る際は水の中で茎を斜めに切る「水切り」をします。水は汚れやすいほうなので、水替えはこまめにし、その際に茎を少し切ってあげましょう。また、花が咲いた状態で花の部分が下がってくる「水下がり」をした場合は、新聞紙などで巻いて全体の半分以上を水に浸ける「深水」も効果的です。

➢ **レイアウト**

花瓶に複数本豪華に飾るもよし、１輪差しにしスマートに飾るもよし、いろいろな飾り方に対応できます。また、カスミソウや葉物を添えてもバラが引き立ちます。ただし、直接日光が当たる場所や、冷房・暖房の風が直接あたる場所は避けてください。

今月の記事は《有限会社　花慶（酒田市駅東２丁目４－１）の菅原さん》からご提供いただきました。

※「酒田華いっぱいプロジェクト」は酒田産花きの認知度向上を目指して、市内の有志の生花店と団体、そして市が共同で立ち上げました。

【3．今月のおすすめの農業体験をご紹介します！】

酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会で提供している農業体験をご紹介します。秋も深まり、朝晩の冷え込みに冬の訪れを感じる季節となりました。酒田の自然や農業にも、秋から冬への移り変わりが感じられます。寒さが厳しくなる季節ですが、ぜひこの季節ならではの体験に参加してみてください！

・体験メニュー①：里山クラフト体験
提 供者：小松　馨
連 絡先：0234-22-4412
料　　金：1 名 1,500～3,500 円
体験人数：5～30 名

・体験メニュー②：コキアを使ったやわらかほうき作り
提 供者：庄内空港緩衝緑地パークセンター　担当：村上・池上
連 絡先：0234-92-4427
料　　金：1 本 200 円
体験人数：4名～

〇申し込み／農業体験提供者へ直接連絡
〇問い合わせ／酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会
（電話：0234-25-3100／HP：https://www.sakatagreentourism.com/）

【4．食卓に旬を。今月のおすすめレシピ】

「酒田市食育・地産地消推進委員会」から、旬の食材を使用したレシピをご紹介します。今月のおすすめ食材は**わわ菜**です。

わわ菜は、ビタミン C やカリウム、食物繊維などを含む野菜です。「娃々（わわ）」は中国語で「赤ちゃん」を意味し、その名のとおり、一般的な白菜より小ぶりで、やわらかな葉とみずみずしい食感が特長です。鍋物や炒め物はもちろんサラダなど、さまざまな料理で楽しめます。

地元産を使えば、新鮮で味わいも豊か。ぜひ地産地消を意識して、旬の食材を美味しくいただきましょう。

★豚しゃぶとわわ菜サラダ★

＜材料＞2 人分～

わわ菜・・・1/2 個　　ミニトマト・・・お好みで
きゅうり・・・１本　　卵・・２個
にんじん・・・お好みで　豚肉薄切り・・・300ｇ
玉ねぎ・・・1/2 個



＜作り方＞

①茹で卵を作る。1/4 にカットしておく。
②わわ菜、きゅうり、にんじん、玉ねぎを千切りにして、水にさらしておく。
③水から野菜をあげ、しっかり水気をきる。
④豚肉をしゃぶしゃぶ！
⑤お皿に野菜とトマト、豚しゃぶ、卵を盛り付けて完成。
☆ゴマドレッシングやポン酢など、お好みのタレをかけて召し上がってみてください😊

※紹介したレシピは、委員会所属の「すくすくあぐりネット」よりご提供いただいたものです。

【５．農業者向けの環境負担低減栽培技術研修会の開催について】

酒田市スマートオーガニック検討会で実施した実証事業で得られたデータをもとに、水稲において収量を確保しつつ肥料の使用量を低減させる栽培技術や、昨今の異常気象に対応した栽培技術などに関しての研修会を下記の日程で実施します。

日程	場所	開催時間
12/14（月）	松嶺コミュニティセンター	13：30～15：00
12/15（火）	観音寺コミュニティセンター	13：30～15：00
12/16（水）	平田タウンセンター	13：30～15：00
12/17（木）	スマート農業研修センター	13：30～15：00

〇講師／株式会社　ファーム・フロンティア　取締役会長　博士（農学）
藤井　弘志　氏
〇主な内容／化学肥料量低減・メタン排出量削減・プラスチック被膜肥料の流出対策など昨今注目されている環境負担を低減させる技術を盛り込みつつ、収量確保を目指す栽培技術の解説。また、昨今の気候変動に対応した栽培技術の解説。
〇費用／無料（1 会場につき20 名程度が上限）
〇問い合わせ／

酒田市農政課　生産振興係
TEL：0234-26-5752　FAX：0234-26-6483

【6．米に関するマンスリーレポート等（令和８年１０月）】

農林水産省より１０月号が配信されました。
詳しくは下記 URL よりご参照ください。

〇主な掲載内容
特集
１　作物統計調査令和８年産水稲の作付面積及び９月 25 日現在の予想収穫量
・・・特集-１
２　令和８年産の水田における作付状況（令和８年９月 15 日時点）
・・・特集-７
３　酒造好適米の全体需給の推計
・・・特集-９

農林水産省（農産）ＨＰ
https://www.maff.go.jp/j/nousan/index.html
農林水産省（マンスリーレポート）HP
https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html
農林水産省（統計情報）HP
https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html

【7．地域農業を導く伴走支援ウェビナー】

個人農家や法人農家向けのセミナーについて開催の案内がありました。
視聴したい内容がありましたら、別添のチラシをご確認いただき直接お申し込みください。
１　農地の探し方×規模拡大・農業参入オンラインセミナー
① 開催日時：11 月 12 日（木）14:00～15:00 対象者：農業法人向け
②開催日時：11 月 19 日（木）14:00～15:00 対象者：異業種法人向け
〇申し込み/チラシの二次元コードから
〇費用/無料

２　地域農業を導く伴走支援ウェビナー
① 開催日時：12 月８日（火）15:00～17:00
〇申し込み/チラシの二次元コードから

〇費用/無料

□■

さかた農林水産業お役立ち情報

発行日：毎月１回＋臨時号

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆　酒田市の農業に関するホームページ

https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html

◇　ページ内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

◇　市公式 LINE での配信の登録、配信停止等は下記リンク先を参考に設定をお願いいたします。

https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/nosanbutsu/nosei_line.html

■□

食と農のビジネス塾一般公開講座





プロと経験者から学ぶ！
農家のための経営継承講座

日付：令和８年 11 月 12 日（木）
会場：酒田市勤労者福祉センター３階 多目的ホール

～プログラム～

13：30～　開　会
13：40～　情報提供　山形県の経営継承支援の取組み
やまがた農業支援センター　主幹　小室邦秀氏
13：50～　**講　演**…講師：大 波 恒 昭 氏
『農家を辞めたい・続けたい・始めたいを結ぶ』
～これからの農業の引き継ぎ方・譲り方～
15：00～　休　憩
15：15～　**パネルディスカッション**
テーマ【多様な農家の経営継承について考える】
16：15～　閉　会

～講師のご紹介～



福島県農業経営・就農支援センター　事務局長　大　波　恒　昭　氏

【経歴】
福島県伊達市出身、福島県庁（農業技術職）入庁後、農林水産部、企画調整部にて 20 年、出先機関 18 年勤務し、令和 5 年 3 月退職。同年公益財団法人福島県農業振興公社、福島県農業経営・就農支援センター事務局長に就任し、現在に至る。

～パネルディスカッション参加者のご紹介～

パネラー：志田久美子さん（受け手）
酒田市刈屋にて令和６年に継承
梨（約 70a）を栽培
継承方法：第三者継承

パネラー：齋藤佑一さん（受け手）
酒田市丸沼にて令和８年に継承
水稲（約 13ha）を栽培
継承方法：親子間継承

主　催：地域定住農業者育成コンソーシアム　山形大学農学部内　事務局　TEL:070-2011-5615
共　催：公益財団法人やまがた農業支援センター

申込方法：電話にて申込（TEL:070-2011-5615）　申込締切：11 月 10 日（火）

酒田市 令和8年度グリーンな栽培体系確立に係る研修会実施業務委託事業

主催：酒田市スマートオーガニック検討会

農業者向け

環境負担軽減栽培技術研修会

参加費無料



次世代型・環境にやさしい省力多収栽培技術

○化学肥料量の低減（局所施肥、可変施肥など）
　側条施肥＋苗箱まかせ（収量目標：600～660kg/10a）
○水田からのメタンの排出削減
　早期中干し、還元抑制
　（秋浅耕、ケイ酸質資材、稲わら腐熟促進）
○プラスチック被膜肥料の被膜殻対策

4会場にて開催！どこに参加してもOK！

12月14日（月）
13:30～15:00
●松嶺コミュニティセンター

12月15日（火）
13:30～15:00
●観音寺コミュニティセンター

12月16日（水）
13:30～15:00
●平田健康福祉センター

12月17日（木）
13:30～15:00
●スマート農業研修センター

お問い合わせ
株式会社ファーム・フロンティア
TEL 0234-25-0830
mail info@famfro.co.jp

農業法人の規模拡大や異業種の農業参入をサポート！

農地の探し方×規模拡大・農業参入 オンラインセミナー

参加費 無料

LIVE配信

本セミナーでは、実際に農業参入した企業や、
規模拡大した農業法人のリアルな声のほか、農地の探し方をサポートする
「農業参入ポータル」の活用方法をご紹介します！

第1回 2026年 11/12（木）

規模拡大・拠点進出を加速

農業法人向け

14:00〜15:00

ライブ配信（当日質問可）

セミナーで学べること

1. 規模拡大・拠点進出の進め方
2. 規模拡大の実例紹介
3. 拡大できる農地の探し方

登壇者

（株）アグリメディア
コンサルティング事業部 部長　野田 和義 氏



2014年アグリメディア入社。市民農園事業の運営・開発統括を経て、現在は自治体・企業向けのコンサルティング事業を統括。農地集約・企業誘致関連事業の実務経験多数。

第2回 2026年 11/19（木）

実例から学ぶ農業参入のポイント

異業種法人向け

14:00〜15:00

ライブ配信（当日質問可）

セミナーで学べること

1. 農業参入を取り巻く環境
2. 参入企業によるトークセッション
3. 参入できる農地の探し方

登壇者

ハートスフード
クリエーツ（株）
代表取締役　西脇 章 氏



有機、無添加素材を使った給食・外食事業を展開。淡路島にて自社農場を開設。

（株）全国チェーン竜鳳
取締役　鈴木 慎 氏



全国500店舗を展開する焼鳥チェーン。食材の安定調達を目的に農業参入。

◀お申込みはこちら

申込締切：
第１回：11/11（水）17時まで
第２回：11/18（水）17時まで
※Zoomウェビナーによる配信

https://sannyu-portal.maff.go.jp/lp/seminar001/

司会進行　サグリ（株）代表取締役CEO　坪井 俊輔 氏

✓ 農地を探している農業法人の方
✓ 農業参入を検討中の企業のご担当者
どちらのセミナーでもご参加いただけます！

農業参入ポータル
農林水産省

農林水産省が提供する
農業参入のための総合サイトです



お問合せ
アグリメディア、サグリ共同事業体
sannyu-portal@sagri.co.jp
https://sannyu-portal.maff.go.jp/

農林水産省：令和７年度地域外からの担い手参入に向けた農地等の情報集約及び参入計画の調査・分析委託事業

参加無料

地域農業を導く 伴走支援 ウェビナー



農業者を導くプロが教える
支援の実践知がここに！

配信日程 2026年 **12月 8日**（火）
15:00 - 17:00（予定）

配信場所 **ライブ配信**※（zoomウェビナー）

※後日、農業経営人材育成プログラム「農業経営支援コース」受講者専用サイト内にてアーカイブ配信を予定しております。

お申込み →

右の二次元コード、又は
URLからお申込みください。

https://quick-sp.satori.site/20261208webinar/contact

第1部　15：00～15：50

農業経営の改善と継承

～あなたならどう支援する～

農業参入や企業連携を見据えた経営改善から事業継承後のフォローまで、地域農業を支える伴走支援の全体像と具体的なプロセスを、実践事例を踏まえてわかりやすく解説します。

【講　演】
株式会社ケミストリー
村上 一幸 氏（代表取締役/中小企業診断士）



<略歴>
大手企業から中小企業までの戦略立案や業務改善などについて豊富な支援実績を有しており、農業・食品産業分野の事業再生や事業承継を得意とし、包括的なコンサルティングを提供する。
・農林漁業事業承継センター代表
・日本プロ農業総合支援機構（JPAO）参与
・事業承継士/上級農業経営アドバイザー

第2部　16：00～16：50

危ない会社の見分け方

～帝国データバンクが見る
国内経済と農業～

帝国データバンクが持つ豊富な企業データと調査ノウハウを活用！経済動向と財務の基本視点から、指導の土台となる前提知識を補強し、現場で自信を持ってアドバイスをするための分析術を解説します。

【講　演】
株式会社帝国データバンク
情報統括部　情報取材課
箕輪陽介 氏（課長補佐）

<略歴>
2010年帝国データバンク入社。
年数百件の企業倒産を取材・調査し、動向分析や実態レポート執筆に携わる。





織田有衣子 氏（記者）

<略歴>
2020年帝国データバンク入社。
倒産企業や業界動向を取材し、農業法人や飲食料品企業の動向分析に取り組む。

【お問合せ先】株式会社QUICK
（農林水産省令和８年度経営発展・就農促進委託事業受託先）
050-1706-3124
平日9：00～17：00（土日祝日を除く）
ds.agri.mgmt.x.ug@quick.jp